

くらき永田保育園便り 12月



さて、今年も残すところ一ヶ月となりました。今年は、世界的にも“ケア”や“つながり”的なあり方が見直され、国内でも子育て支援制度の見直しや「こども誰でも通園制度」の本格検討など、保育を取り巻く環境が揺れ動いた年でした。物価上昇が続き、家庭の暮らしにも影響があったからこそ、園での“ほっとできる時間”や“安心して遊び込める場”的な価値を改めて感じました。夏には記録的な猛暑となり、地域でも熱中症への警戒が呼びかけられました。外遊びの時間を調整しながらも、水遊びをしたことも遠い昔のように感じます。一方、秋には「まるごとまつり」や「こどもまんなかテラス」など久しぶりに「人が集まるにぎわい」を園内外でも感じることができた一年でもありました。社会の変化の影響を受けながらの保育園運営ですが、子どもの最善の利益を考えながら、来年以降も楽しい保育を作り上げていきたいです。

今年もやります「ぼ～燃会」

先月もお知らせしましたが年末の園庭の風物詩にもなってきた「園庭でぼ～っと火を燃やす」「ぼ～燃会」を12月22日（冬至）の夕方16時半～18時半の2時間、園庭で行います。お迎え後の短い時間ですが焚き火をしながら薪がはぜる音を聞き、のんびりとしたひと時を過ごし一年の疲れを癒したいと思います。今年も「おやつ以上、夕食未満」の食材持ち込み大歓迎です。また、焚火台などキャンプ道具を活用したい保護者も大歓迎です。

（注）長時間の語らいを楽しむ方は近隣の駐車場を活用し、送迎に支障がないようご注意ください。

保育園からのお願い

12月28日から1月4日の期間は 保育園は休園となります。

ロッカーの中身はお持ち帰りいただき清掃を行います。また、この機会に衣類や保育材料等の点検をお願いします。

年末年始は、小学校等との関係で登園児童が少ないことが予想されます。職員のシフトも適正な人員に配置したいと考えていますので、保育時間予定表に記入できなかったお休みなどが入りましたら隨時お知らせください。

子どもの身近と職員の対話

懇意にしている保育園さんと継続して勉強会を行っているのですが、次回は「子どもにとっての身近とは？」をテーマに学びを深めようということになりました。普段何気なく使っている言葉ですが、保育的に考えると深みのある問いになってきます。手が届く様な距離感・・・生活の連續性として・・・理解できる範囲・・・選べる、触れられる、関わられるといった主体との関係・・・自分事として語れること・・・などなど考えていくと「身近」は学びの出発点になるのだなあ、また、いつもと同じがあるから、いつもと違うという世界に向かっていけるのだろうかといった保育の気付きを得ることができます。保育を考えるということは哲学的な思考と似ているところがあり、くらき永田保育園の職員は会議等でこのような問い合わせを基に対話の時間を設けたりしているのです。

各クラスの『くつろぎコーナー』をお伝えします！

にこにこ

にこにこ組では、L字のついたての所にクッションを置きくつろぎコーナーを設置しています。広いスペースと違って小さな空間が落ち着ける様子です。そこに、玩具を持っていき一人でじっくりと遊んでる姿も見られます。また、大きいクッションを置くと横になって休息をしてみたり、婦人会のボランティヤさんが作ってくれたぬいぐるみを、ぎゅーっと抱っこをして癒しの場にもなっています。

子どもたちは、這い這いや歩行をする運動と、目と指先を使って遊ぶ微細遊びなど、遊びの全てに心身共に体力を使っています。くつろぎのコーナーがあることで体や脳の休息となり、再び元気に遊べるための良い空間になっています。

これからも、子どもひとり一人のタイミングでくつろぎながら、たくさん遊んでもらいたいと思います。



よちよち

よちよち組では、室内に敷布団のマットとクッションを置いて、くつろぎスペースを作っています。

少しほっとして身体を休めたい時に、自らマットに向かい横になる子どもが増えているように感じます。少しつろぐと、また、遊び始めたり、時間帯によってはそのまま眠ったりしている事もあります。床と違ってふわふわして気持ち良いのか、寝転がっているうちにみんなでお団子のようになってくつしたり、そこに玩具を持ち込んでお医者さんごっこやおままごとが始まります。子どもたちの様子に合わせて、横になるわらべうた {かじやのかっちゃん・なこかいとばかい}などを楽しむこともあります。

これからも、遊びたい子どもの気持ちも、のんびりしたい子どもの気持ちも満たされるように見守っていきたいと思います。





すくすく

今年度、すくすく組では、気持ちが疲れた時に「お布団出して！」と自分から保育士に伝える子どもの姿がありました。そこで保育士が個人の布団を保育室に広げるとごろんと横になり、しばらくすると自分で立ち上がり元気に遊び始めました。他の子どもたちもそのお友だちの姿を真似て疲れた時に「お布団出して！」と伝える事が増え、自ら休息するようになっていきました。

そこで、子どもたちが自由にくつろげるよう室内にマットレスを用意し、子どもが「出して！」と伝えた時や、疲れの出やすい夕方の時間帯などに、子どもが自分で広げて使えるようにしています。マットレスの上では子ども同士が隣り合って座ったり、ただごろんと横になって過ごしたりしています。そのうちにマットレスの上で遊びが始まる事も多いです。

走ったり、身体を動かす事も大好きな子どもたちですが、子どもが自分のペースでゆったり身体を休める時間を大切にしながら、遊びの時間が更に充実するよう、これからも見守っていきたいと思います。



異年齢

保育園は、子ども達にとって「楽しい場所」であると同時に、一日の大半を過ごす大切な“生活”的場でもあります。だからこそ、毎日安心して過ごせる居場所づくりを大切にしています。

これまで、子ども達が疲れてしまった時や体調がすぐれない時は、パーテーションとその子の布団を用意して休めるスペースを作っていました。でも、「もっと気軽に休める場所があるといいよね」という声が、異年齢クラスの中でも上がっていました。そこでこのたび、子どもたちが自分のペースでゆったりできるよう、長座布団を購入することを検討しています。ちょっと横になったり、まつたりと過ごしたり・・・子ども達がほっと一息つける場所として活用していきたいと思っています。

また、子ども達の休息スペースについて「こんなアイディアがあるよ！」というご意見がありましたら、ぜひ教えてください。みなさんと一緒に、より心地良い環境づくりを進めていきたいと思います。



給食室

12月22日は冬至の日です。

冬至とは、1年で1番、太陽の出ている時間が短い日になります。

この日に「ん」のつくものを食べると「運がつく」とされ、かぼちゃ（なんきん）を食べて、ゲンを担いでいたとされています。

また、昔は冬の時期にとれる野菜が少なく、夏が旬のかぼちゃを冬まで保存し、貴重なビタミン源としていました。

「ん」のつくほかの食べ物・・・にんじん、れんこん、きんかん、ぎんなんなどがあります。

冬至の日には、ゆず湯に入るのも習慣になっています。

ゆずの強い香りが邪気を払い、血行をよくして体を温めてくれます。



冬至を過ぎれば、日は長くなっていきますが、寒さはこれからが本番です。

あたたかいご飯を食べて、元気に冬を乗り切りましょう！



食育係より

今年度、食育係では、子どもたちが楽しく食に興味ができるような取り組みを行っています。

乳児クラスでは、給食になる前の食材に触れ、切る過程を見てみました。給食の先生が皮ごと丸ごとの野菜をクラスに持ってきて、子どもたちの目の前で切ってくれました。給食の先生が部屋に入ると、普段園内散歩でガラス越しに会っている先生に注目！そして、野菜を見ると、触ろうとしたり、ちょっと逃げたりと、反応は様々でした。半分に切って中身が見えると、覗き込んで、興味津々の子ども達でした。給食の時間には、今朝切ってもらった野菜であることを伝え、食べている様子を給食の先生が見に来てくれました。子どもたちは笑顔で迎え、張り切って食べているように感じました。

異年齢クラスでは、原木からシイタケを育てて収穫し、クッキングして食べてみました。苦手な子どもも、興味を持って食べてみるきっかけになったようです。

そして、各クラスでは、夏野菜を育てましたが、毎日の水やりを楽しみにしている子どもがたくさんいました。お世話して収穫したものは、クッキングで味わったり、感触遊びや手作り玩具に活用したりしています。秋から新たに、ホウレン草やブロッコリー、赤かぶ・ミニ白菜などを育てています。

これからも、色々な活動を通して、楽しく食に興味が持てるようにしていきたいと思います。





今月の行事

- 6日 親子で TOY 活
- 13日 布団乾燥
- 18日 久保先生のわらべうた
- 22日 ぼ～燃会
- 23日 クリスマス演奏会
- 25日 クリスマス
- 29日 年末年始（4日までお休みです）



来月の行事

- 5日 保育園開始
- 10日 布団乾燥
- 14日 おもちつき
- 15日 久保先生のわらべうた

